

地域の元気推進事業



新時代へ、波多津創造

Hatatsu toward the New Era



玄海国定公園「高尾山公園」より波多津湾を眺望

平成21年3月

波多津町まちづくり運営協議会

目

次

1. はじめに	1	<平成20年度の取り組み>	
2. 波多津町の将来像	2	(1)平成20年度重点施策	15
3. 地域の元気推進事業の概要	3	(2)地域の元気づくり 交付金事業計画書	16
4. 生活課題調査	4	(3)地域の元気づくり 交付金収支予算書	17
5. 波多津町ガイドマップ	5	(4)波多津町観光看板	18
6. 当面の波多津町の 3つの主要課題	6	(5)はたつふれあい広場 FBS生中継	19
7. 波多津町まちづくり機構図	7	(6)各自治公民館の 元気推進事業	20
8. 波多津町まちづくり 運営協議会の組織図	8	(7)こんばんは！ 波多津町まちづくり集會	21
9. 各部会の基本テーマ・具体的 内容	9	(8)波多津町への 観光(視察)客動態調査	22
10. 年度別スケジュール	10	(9)これまでの取り組みの経過	23
11. 力強く明日に向かって	12	(10)波多津町まちづくり 運営協議会規約	24



田嶋神社(国指定重要文化財・建造物の本殿)

1. はじめに

美しい入江、無数の小島。その深く入り込んだ波静かな海を囲むように緑豊かな大地が息づく波多津。そこには、私たちの心に響く景色があり、美しい自然が息づいています。

伊万里市で唯一、漁港をもった町です。最近では捕る漁業から育てる漁業へ大きく変貌するなかで、タイやハマチ、ヒラス、車エビ等の養殖が行われています。

一方、農業も盛んで、穀類をはじめとして、畜産、園芸、果樹など伊万里市にあるものはすべて、波多津にあるといわれるぐらさまざまな生産物が作られています。

しかしながら、社会の状況を見ますと、少子・高齢化、高度情報化等の急速な進展や社会・経済環境は歴史的な大きな転換の時を迎えています。

このような状況で、新しい時代において、自分たちの町を見つめ直し、地域の課題を見つけ、地域でできることは、地域でやっという土壌を形成し、地域の元気を創りあげていくことが大切です。

今後、この計画を真に実効あるものとしていくためには、町民の皆様一人ひとりに、まちづくりへ参画していただき、貴重なご意見、ご提言をお寄せいただくことを願っています。

波多津町町づくり運営協議会
会長 井手 武 昭



鯛山笠(浦区)

2. 波多津町の将来像

(1) まちづくりの基本理念

町のキャッチフレーズ

「豊かな自然と人情あふれる波多津町」

町民憲章

(前文)

わたしたちは、波多津町民であることに誇りを持ち、「波多津を学び、波多津を語り、波多津を創る」という「三つの誓い」を掲げ、より豊かで潤いのある町にすることを願い、この憲章を定めます。

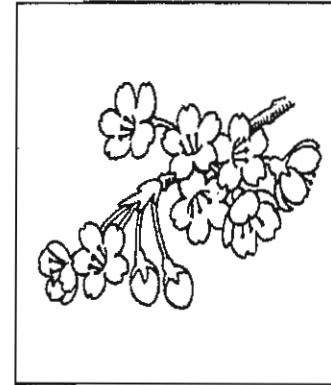
(主文)

- 1 わたしたちは、豊かな自然を大切にし、感動ある体験を通して、豊かで潤いのある感性を育みます。
- 2 わたしたちは、お互いにあいさつを交わし、共に助け合い、明るく活気のある町づくりに努めます。
- 3 わたしたちは、伝統文化を大切にし、夢と希望あふれる未来を創ります。

(2) まちづくりのキーワード

豊かな大地と海を活かし
新たな価値を創る。

町の花・町の木

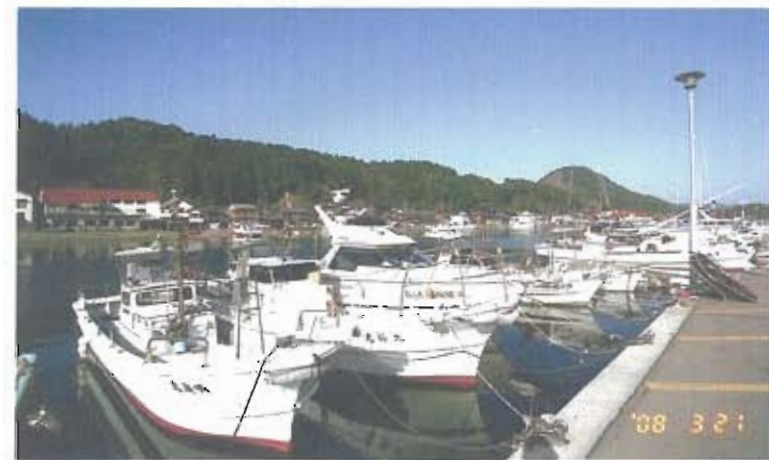


波多津町のシンボルでもある高尾山公園は、桜の名所でもあり、町民になじみが深い。

町のシンボルマーク



全体は波多津のHを表し、豊かな大地と海をイメージしています。



波多津漁港

3. 地域の元気推進事業の概要

地域自ら考え、行動する自主・自立的な住民自治の確立をめざして…



波多津みなとまつり夜景

(1) 趣旨

「伊万里市民が主役のまちづくり条例」に基づき、波多津町の将来像である町民憲章「豊かな自然と人情あふれる波多津町」を実現するため、地域の課題解決や地域資源を活かした身近なまちづくりを考え実践することで、地域の元気を創り出します。

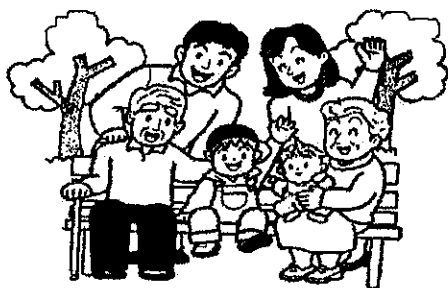
(2) 事業の推進

- ① 地域の態勢づくりの推進
 - ・地域の総意が反映される運営組織の確立
- ② 地域課題の明確化
 - ・何が問題で、何が課題か、全員で明らかにし共有する。
- ③ 地域元気づくり事業の実施
 - ・切実な課題意識が出発点。

4. 生活課題調査

調査：平成20年9月
調査日：波多津町全世帯
回収率：353/697(51%)

この調査は、波多津町が伊万里市の地域の元気推進事業のモデル地区に指定されていることから、波多津町の現状を把握し今後の推進計画に活かすために実施したものです。



【集計・分析】

1 あなたは、波多津町が好きですか。該当するものを1つ選んで、番号を○で囲んでください。その理由も聞かせてください。

項目	人数	%
① 大変好き	82	23
② まあまあ好き	174	49
③ どちらともいえない	79	22
④ あまり好きではない	13	5
⑤ きらい	5	1

(353) (100)

- ・「大好き」、「まあまあ好き」を合わせて72%の人が波多津町が好きであると回答している。
- ・好きな理由として「海あり山ありで自然が豊かである」、「人と 人とのふれあいがある」ことをあげている。
- ・あまり好きでない、「きらい」な理由として「上水道や下水道の遅れ」や「交通の不便」、などをあげている。

2 現在、波多津町に生活していて将来に向け、困っていること、不安や悩んでいることはどんなことですか。該当するものを1~3つ以内選んで、番号を○で囲んでください。

項目	人数	%
① 働く場所が少ない	180	25
② 公共交通の生活の便が悪い(買い物に不便である)	231	32
③ 老後の生活が不安である(介護や支援)	123	17
④ 自分(家族)の健康が心配である	50	7
⑤ 福祉施設やスポーツ施設が少ない	68	9
⑥ 風水害等の防災対策	43	6
⑦ 空き巣・窃盗等の防犯対策	22	3
⑧ その他	8	1

(725) (100)

・ 将来に向け困っていること、不安や悩んでいる事として

- ① 公共交通の便が悪い(買い物に不便である)
- ② 働く場所が少ない
- ③ 老後の生活が不安である(介護や支援)

現在、伊万里へのバスが福島港から、一日に12回、木場より3回の運行状況の中で、バスが全く運行されていない行政区が7つあり、高齢化社会を迎え、今後福祉バス等の運行が望まれるところである。

3 波多津町のまちづくりにおいて、いま取り組むべき最重要項目はどれだと思いますか。該当するものを1~3つ以内選んで、番号を○で囲んでください。

項目	人数	%
① 安全への取り組み	91	13
② 声掛けやあいさつ運動など心のかよいまちづくり	117	16
③ 一人暮らし高齢者対応等、福祉問題への取り組み	155	22
④ 青少年の育成・子育て支援	117	16
⑤ 伝統文化の維持と創造	34	5
⑥ 地域の自然を活かしたまちづくり	127	18
⑦ 人との交流、ふれあい事業	65	9
⑧ その他	4	1

(710) (100)

・ 波多津町のまちづくりにおいて、いま取り組むべき最重要項目として

- ① 一人暮らし高齢者対応等、福祉問題への取り組み
- ② 地域の自然を活かしたまちづくりなどが多かった。

その他として、公共施設(波多津小学校・公民館等)の設備、少子高齢化対策などの意見が

5. 波多津町ガイドマップ

1 波多津漁港



伊万里市で唯一の漁港であり、また漁業基地として近年でこれた魚介類や産物の類・ハマチ・ホエーなど新鮮な海の幸を手配しています。

2 港まつり



田嶋神社の秋祭りに合わせて開催され、会場は漁港周辺には捕れたての魚介類が所狭しと並びます。その場で調理することもでき、毎年たくさんの人で賑わいます。

3 田嶋神社(相津)



宗尊三女神を祀り、伊万里市で唯一の国指定の重要文化財です。本殿は、神意者・玉置社造り世襲造りという建築で、中世の社殿様式を伝える重要な建造物です。

4 秋祭り

10月17日は田嶋神社のお祭りです。田嶋様はこの日、浜(港区)のお祈り所までご参祭されます。また祭り囃子も賑やかに、子供たちに売られた山笠の「賑やま」が地区内を回り、祭り気分を盛り上げます。

5 高尾山公園



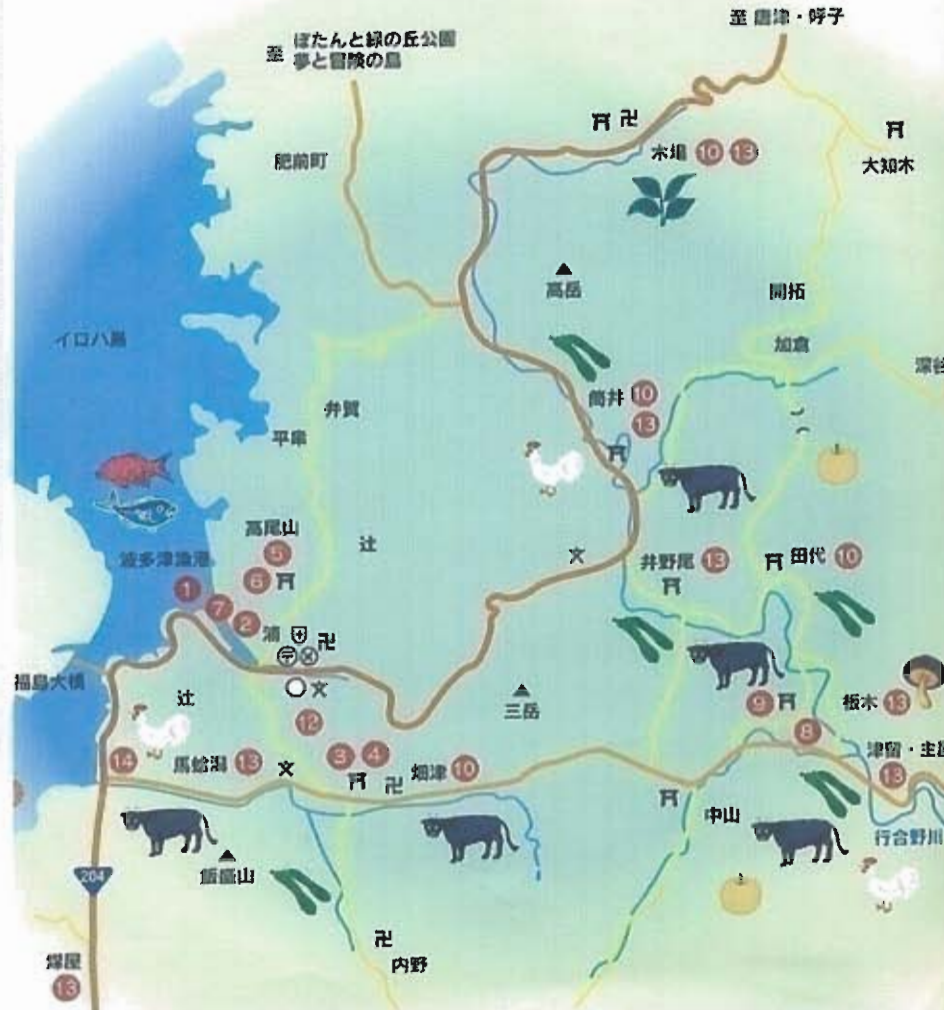
玄海国立公園内にあり、其時頃の稲穂やすばらしい景観の「いろは館」を遊覧することができます。また、桜の名所としても有名です。

6 金毘羅宮

玄海国立公園内の高尾山山頂に祀られ、航海安全の守り神として人々の信仰を集めています。「金毘羅」は、梵語で神の意味であり、仏法を守る神々の一つといわれています。

7 精霊流し(津)

旧暦15日の翌夜祖先の霊を送るため、精霊船が津川に流されます。たくさんのお灯で飾られた精霊船は、打ち上げ花火の光で、静やかにその旅をします。

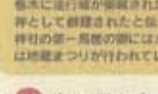


8 法行城址



戦国時代、波多島の一帯を河越守領により津留郡の山城として築かれました。波多氏の領土で城となりましたが、時の城主久富直房の主導である家本康元氏の侵襲により毀滅され、当時の様子を伝えています。

9 田嶋神社(板木)



板木に法行城が築かれたとき、その御守神として鎮座されたと伝えられています。神社の第一鳥居の前には六地藏があり境内には秋まつりが行われています。

10 亥の子づき



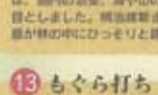
旧暦十月の初めの亥の日、親戚と亥々の雑煮を祝い行われます。地元の子どもたちが、直径20センチほどの石に「かむかつら」を巻いて固定し、家々を回り「石づき雑煮」を新しいながら石づきをします。

11 石仏十六羅漢



津留の山中の谷間の下層に、16体の石仏が安置されています。奥にも崖から羅漢像は、19世紀の始め地元の道楽供養のため造られたと伝えられています。

12 郷祖の墓



波多津土着の津留守により買われた「郷祖」は、浜内の津留、津留山の信仰や習俗を継承しました。明治維新まで続いた代々の墓が林の中にひっそりと静んでいます。

13 もぐら打ち



田嶋を流すすぐくらの津留川、津留の里作を誇る田嶋行事で1月14日の朝に行われます。竹の棒の先に藁を巻いて巻きつけた「もぐら打ち」を作り、子どもたちが家々の祖先で助にあわせて地蔵を叩きます。

14 馬鈴薯新田二百年祭記念の碑

波多津の産業で定年3年(1705年)より始まった干拓工事(津留川河口21町)の200年を記念して建立されました。

6. 当面の波多津町の3つの主要課題



「はたつふれあい広場」に初のバスツアー客

- ・ はたつふれあい広場が市と福岡の旅行会社が共同企画した福岡都市圏をターゲットにした日帰りバスツアーの昼食会場に選ばれ、6月8日にその第一陣が来場。
- ・ バスツアー誘致をきっかけに町外にふれあい広場や波多津町みなとまつり、高尾山公園等波多津町の魅力を発信し、四季を通じて自然と人がふれあうまちづくりを推進したい。



基本健診受診率、むし歯保有率は市内ワースト1位

- ・ 5月30日（金）、波多津公民館において平成20年度住民総合健診が実施されましたが、その際、保健師さんが公民館職員に「こんなに受診者が少ない町はありませんネ」また「〇〇区は、今日は何か区で行事がありますか？まだ一人の受診者がありませんので・・・」と漏らされました。
- ・ 健康づくり課にその事実を確認すると基本健診受診率もさることながら、一人あたりのむし歯の数も憂慮すべき状況にあることが判明しました。暮らしの安心を根底から支えるために、子どもからお年寄りまでの生涯を通じた健康づくりが急務です。



高齢化率 全国18% 伊万里市24,1% 波多津町29,2% (平成20年5月現在)

- ・ 高齢化率とは、総人口により占める65歳以上の高齢者の割合で波多津町は他町に先駆けて急速に進んでいます。日本は2050年には36%になり超高齢化社会に入ると予測されています。
- ・ 年々、一人暮らし高齢者（波多津町56名）や夫婦だけの世帯が増加の現象にあるなかで、誰もが共に支え合う福祉社会を目指すことは、どこの町も今日的課題です。

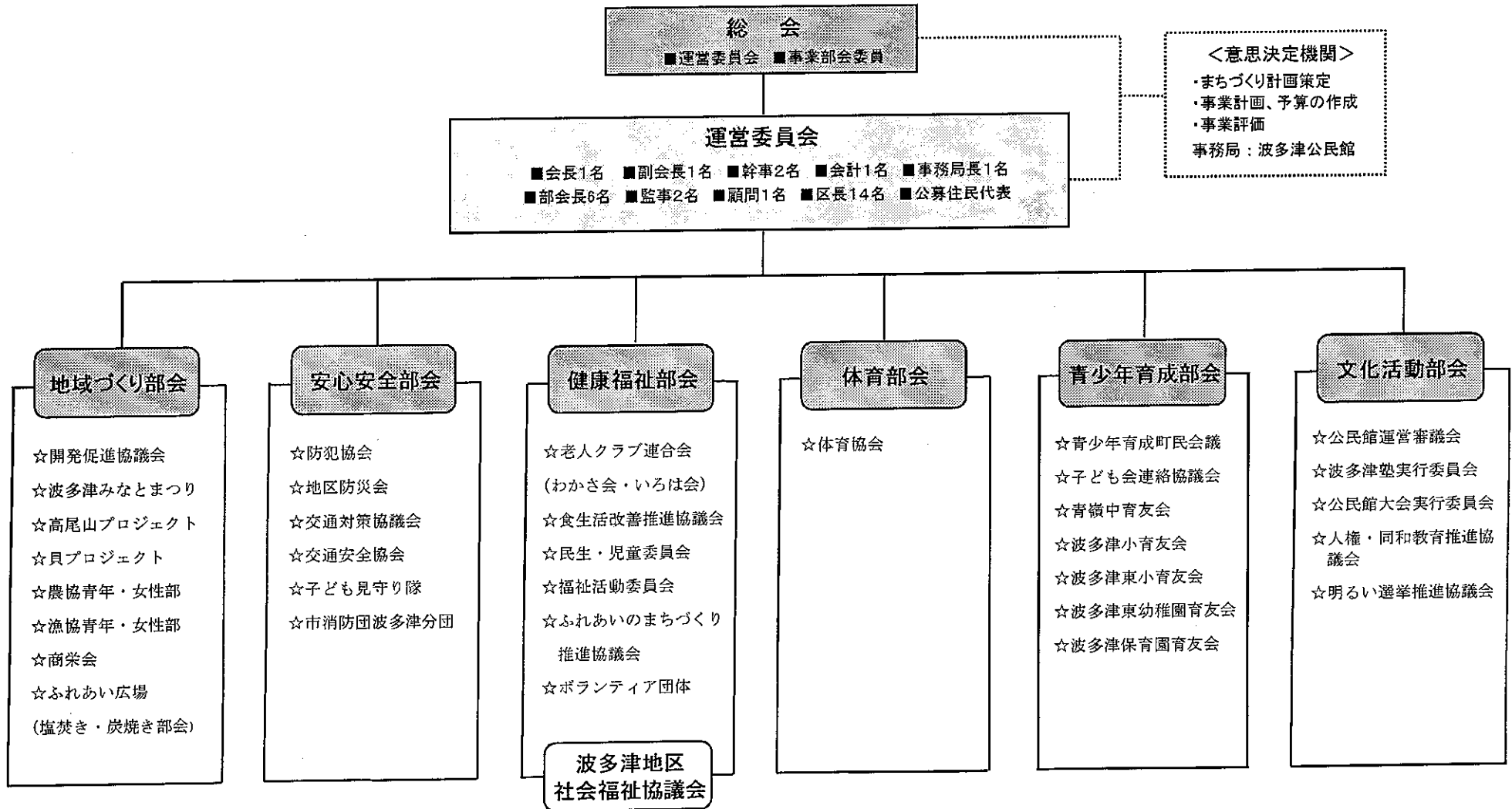


魚介類などのバーベキューを楽しむ福岡からのバスツアー客

基本健診受診率(国保40~74歳)

内訳 町・市	受診者数	受診率
波多津町	103	16,10
全 市	2,978	25,4

7. 波多津町まちづくり機構図



8. 波多津町まちづくり運営協議会の組織

連番	種別	役職	氏名
1	協議会役員	会長	井手武昭
2		副会長	田中芳隆
3		幹事	小杉國次
4		幹事	田中博雄
5		会計	小杉道久
6		事務局長	〃
7		地域づくり部会長	田中芳隆
8		安心安全部会長	池田正俊
9		健康福祉部会長	田中末雄
10		体育部会長	小杉利孝
11		青少年育成部会長	橋口年春
12		文化活動部会長	小杉國次
13		監事	大久保萬
14		〃	川元國滿
15	区長会	木場区長(区長会副会長)	松下 敦
16		開拓区長	峯松徳治
17		筒井区長	市丸和利
18		井野尾区長	古川広美
19		田代区長	古河幸雄
20		板木区長	前田眞吾
21		津留主屋区長	市丸重博

連番	種別	役職	氏名
22	区長会	中山区長	田中正司
23		畑津区長	大久保 萬
24		内野区長	藤森波男
25		煤屋区長	田中博雄
26		馬蛤潟区長	渡辺芳孝
27		辻区長	川元國滿
28		浦区長(区長会会長)	井手武昭
29	顧問	伊万里市議会議員	前田久年
30	公募住民代表	筒井区	松尾二葉子
31		馬蛤潟区	渡辺盛子

32	支援市職員	副部長兼課長	田中恒範
33		課長	吉田正男
34		係長	福野和之
35		係長	松下裕慈
36			久保克明
37			大西朱美

9. 各部会の基本テーマ・具体的な内容

部 会 名	基 本 テ ー マ	具 体 的 な 内 容
地域づくり部会	1. 活力と魅力ある まちづくり	生活課題調査によると、波多津町が「大変好き」「まあまあ好き」を合わせて72%の人が好きであると回答しています。 恵まれた地域資源を活かして、活力と魅力あるまちづくりを推進します。
安心安全部会	2. 暮らしを守り 安全・安心なまちづくり	犯罪や暴力のない安全なまちづくりを進めるためには、自主的、主体的な地域安全活動を促進するとともに、地域住民の連帯意識の醸成に努めます。「地域の安全は地域で守る」という意識の高揚を図り、安心で安全なまちづくりを推進します。
健康福祉部会	3. 共に支えあう 福祉のまちづくり	生活課題調査によると、いま取り組むべき最重要課題として、一人暮らし高齢者対応等、福祉問題への取り組みを求める声が多い。また、「自分の健康は自分でつくる」という町民自らの健康づくりを支援します。
体育部会	4. スポーツ振興による 元気なまちづくり	スポーツは健康と体力の維持増進はもとより、チームプレーを通し、相互の連帯感を育み、地域づくりへつながる機運を高め、生涯にわたり運動に親しみ、心身ともに健康で元気のある環境づくりに努めます。
青少年育成部会	5. 青少年のたくましい心や 体を育むまちづくり	次代を担う青少年を心身ともに健全に育てることは、町民の願いであり、責務であります。学校、家庭、地域との連携により、子どもたちが、豊かな感性、社会性を備え、たくましい心や体を育む活動を促進します。
文化活動部会	6. 地域の歴史や文化を 生かしたまちづくり	生活の中に、潤いや楽しさが実感できるように、貴重な地域の伝統芸能や失われつつある文化財の保存、保護に務めるとともに、その活用を促進し、町民の郷土理解を深め、地域に根ざした文化の形成を推進します。

10. 年度別スケジュール

平成20年度からの新規事業  (それ以外は既存の事業)

(No.1)

基本テーマ	課題の柱	具体的な事業	短期的			中期的				長期的				
			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度		
1. 活力と魅力ある まちづくり	波多津の観光資源を 整備し、発展させる	はたつふれあい広場の充実	○										→	
		高尾山公園の整備事業	○											→
		波多津みなとまつりの充実	○											→
	各自治公民館活動の推進	集落の宝を後世に	○											→
	波多津町開発促進協議会	道路・河川等の整備事業	○											→
2. 暮らしを守り 安全・安心なまちづくり	暮らし安全の確保	災害情報システムの確立				○								→
		子ども見守り隊の活動充実	○											→
		波多津町の危険マップの作成				○								→
	交通安全の確保	各組織の再編強化の検討	○											→
	環境問題への取り組み	リサイクルサンデーの推進	○											→
3. 共に支えあう 福祉のまちづくり	生涯健康づくりの推進	各種健診の受診率の向上	○											→
		歯科検診の充実	○											→
	高齢者福祉の充実	地域福祉の充実	○											→
		高齢者福祉の充実				○								→
		地域安全活動の充実				○								→

基本テーマ	課題の柱	具体的な事業	短期的			中期的				長期的				
			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度		
4. スポーツ振興による 元気なまちづくり	町民スポーツの充実 (健康福祉部会と体育部会の共催)	町民体育等の充実	○										→	
		町民球技大会の充実	○											→
		町内一周駅伝大会の充実	○											→
		ニュースポーツの推進	○											→
		健康づくり大会の推進	○											→
5. 青少年のたくましい 心や体を育むまちづくり	子どもの地域との交流 体験活動拡充	波小・東小・黒小の交流事業				○							→	
		世代をこえた異年齢との活動	○											→
	子ども会活動の推進	子ども夏季球技大会の充実	○											→
		子ども駅伝・卓球大会の充実	○											→
	家庭教育の推進	家読の推進		○										→
6. 地域の歴史や文化を 生かしたまちづくり	伝統文化の継承保存	各地区での伝統文化の継承	○										→	
	伝えたい、波多津の記憶	アグリ山監視哨の開発		○									→	
	波多津塾講座の充実	文化的講座の実施	○										→	
	地域文化の振興と交流	文化活動の推進				○							→	
	人権・同和教育の推進	人権意識の高揚	○										→	

12. 力強く明日に向かって

豊かな大地と海を活かし、新たな価値を創る。これは、波多津町のまちづくりのキーワードです。



平成17年7月 波多津っ子集会 漁業体験学習



平成19年11月 地域がみんなで作る波多津の教育



平成17年10月 市長さん・教育長さんごんにちは！集会



平成18年9月 波多津っ子集会！ろこぎ体験学習



平成17年7月 波多津っ子集会！農業体験学習



平成20年5月 第33回波多津町民体育祭



平成17年10月 タウンミーティング 市長さんからのメッセージ



平成21年2月 春の健康家庭料理



平成18年9月 波多津っ子集合！ バーベキュー



平成20年4月 子ども見守り隊 出発式



平成18年9月 波多津っ子集合！ 伊万里湾ツーリング



平成20年9月 波多津みなとまつり



平成18年9月 波多津っ子集合！ 名村造船所見学



平成19年5月 第33回 波多津町民体育祭



平成19年7月 地域のきずなを深め、地域の再生を



平成19年5月 第33回 波多津町体育祭



平成18年10月 子どもの読書推進事業標語表彰



平成20年11月 波多津公民館大会

地域の元気推進事業

平成20年度 重点施策

- 当面の波多津町内の3つの主要課題をもとに
(1)地域の特性を生かした事業
(2)どこの町も課題となる事業
の視点から、平成20年度重点施策を展開してきました。
- 今年度は、運営委員会や各部会の開催と平行して、「こんばんは！波多津町まちづくり集会」を各行政区ごとに開催し、事業の主旨と重点施策について、町民に周知徹底を図ってきました。



冬の波多津漁港

(1) 平成20年度の重点施策

全体構想図

《町のキャッチフレーズ》

「豊かな自然と人情あふれる波多津町」

<p>(前文)</p> <p>わたしたちは、波多津町民であることに誇りをもち、「波多津を学び、波多津を語り波多津を創る」という「三つの誓い」を掲げ、より豊かで潤いのある町にすることを願い、この憲章を定めます。</p>	<p>(主文)</p> <ol style="list-style-type: none"> わたしたちは、豊かな自然を大切にし、感動ある体験を通して、豊かで潤いのある感性を育みます。 わたしたちは、お互いにあいさつを交わし、共に助け合い、明るく活気のある町づくりに努めます。 わたしたちは、伝統文化を大切にし、夢と希望あふれる未来を創ります。
--	---

(1) 時代の潮流(少子・高齢化)から

主題の設定理由

(3) 「市民が主役のまちづくり条例」から

主題, 1 [地域の特性を生かした事業]

活力と魅力あるまちづくり

「自分たちのまちを何とかしよう」という願いのもとに、地域の宝を生かした活力とにぎわいのあるまちづくりをめざします。

主題, 2 [どこの町も課題となる事業]

共に支えあう福祉のまちづくり

暮らしの安心を根底から支えるために、子どもからお年寄りまでの生涯を通した健康づくりと誰もが共に支え合う福祉社会をめざします。

視点1

活力とにぎわいのあるまちづくり

- ふれあい広場、波多津港みなと祭り、高尾山整備事業の運営と集客の方法。
- 各自治公民館の元気推進事業の推進
 - ・人との交流、ふれ合い事業
 - ・安全、安心のまちづくり
 - ・地域の自然を生かしたまちづくり
 - ・伝統文化の継承と創造

視点2

生涯健康づくりの推進

- 各種健康診査の受診率の向上
 - ・受診率アップが健康管理の第一歩
- 歯科検診の充実
 - ・乳幼児の虫歯予防、成人期の歯周疾患予防、8020運動の推進
- 町民参加による健康づくりの推進
 - ・健康教育・相談、食生活改善活動、

視点3

高齢者福祉の充実

- 地域福祉の充実
 - ・民生・児童委員、福祉活動員の社会的支援システムの構築
- 高齢者福祉の充実
 - ・様々な情報交換と交流の場の設定
- 地域の安全活動の充実
 - ・防災、交通安全、防犯活動の推進

(2) 地域の元気づくり交付金事業計画書

事業名	実施予定期日	事業概要(活動内容・目的・効果等)
(1)ふれあい広場、高尾山整備事業	ふれあい広場 通年、毎週土日	現在、波多津町社の市有地で、波多津町開発促進協議会により、毎週土日に、海産パーベキュー、農産物直売などが「波多津ふれあい広場」として実施されている。 今年度は、市の商工観光課とのタイアップによる西鉄バスのバスツアーの昼食会場にも選ばれており、今後の事業拡大のため、パーベキュー会場の整備などを行う。
(2)各自治公民館の元気推進事業の推進	高尾山整備事業 通年	波多津町では、地元有志により、波多津のシンボリックな存在である高尾山公園をかつての賑わいを取り戻すため、樹木の伐採、整地作業、花の植栽等の活動が続けられている。 今年度は、町外の人にも分かりやすいよう高尾山入口に案内板を設置し、利用者の増加を目指す。
(3)各種健康診査の受診率の向上	通年 期日指定 10月～12月	波多津には、古くから地区ごとに、様々な伝統文化をはじめとして、自然や歴史、産業を生かしたまちづくりが生づいている。そこで、これらを更に磨きあげ、いろんな機会に公表して、真に豊かさを実感できる地域社会の形成をめざす。 波多津町の問題点の一つは、住民総合健診の受診率が市内でも低いという健康に対する意識の低さである。 そこで、健診を受診することの重要性を町民に訴える内容の文書を作成し、各行政区の常会に出かけていって、啓発する事によって、波多津町の受診率をアップさせる。

(4)歯科検診の充実	11月	波多津町の二つの問題点は、乳幼児健診で明らかになった、一人あたりのむし歯の本数の多さである。 そこで、波多津保育園、波多津東幼稚園に講師を派遣し、子どもたちや親に対し、むし歯予防の指導を行う。
(5)町民参加による健康づくりの推進	10月13日(日)	町民の健康的な生活習慣を確立するため、従来の体協が行っていた、「波多津を歩こう会・グラウンドゴルフ大会」に健康相談や健康教育の催しを加え、第1回「波多津町健康づくり大会」として開催する。
(6)地域福祉の充実		地域で安心安全に暮らせる福祉のまちづくりに取り組むためには、地域のいろんな役割を持つ人の連携、協力を図ることが重要である。 そこで、まず町の民生・児童委員、福祉活動員を広く町民に知ってもらうことから始めようと、それぞれの区の常会で仕事内容を説明したり、委員を紹介する「あなたのまちの民生・児童委員、福祉活動員は私です」キャンペーンを展開する。
(7)高齢者福祉の充実	11月以降	ややもすると家に閉じこもりがちな高齢者に憩いの場所を持ってもらうために、高齢者サロンを各行政ごとに設置する。 今年度は、各行政区での実態調査と先進地視察等を行う。
(8)地域の安全活動の充実	11月以降	高齢者や障害者が住み慣れた家屋や地域で暮らしていくためには、町民一人ひとりが共に支え合う社会を実現させることが大切である。 どの方がいつの時点で、誰が支援するのがなど、隣組住民が互いに助け合うための基本的な情報を共有していくマップを作成する。

(3) 地域の元気づくり交付金収支予算書

【収入の部】

(単位:円)

項目	予算額	積算内訳
地域の元気チャレンジ交付金	850,000	
自己資金	10,000	町体育協会より
計	860,000	

【支出の部】

(単位:円)

項目	予算額	積算内訳
ふれあい広場、高尾山整備事業	300,000	
委託料	100,000	案内看板製作委託料50,000円×2枚
工事請負費	80,000	パーベキュー施設屋根設置工事
備品購入費	120,000	PR用のぼり旗2,400円×50セット
各自治公民館の元気推進事業の推進	300,000	
報償費	100,000	賞品代ほか
需用費 食糧費	30,000	作業時お茶150円×200本
需用費 消耗品費	140,000	用紙、マジックほか
需用費 燃料費	10,000	草刈作業用軽油
使用料及び賃借料	10,000	作業用トラック借用料5,000円×2台
原材料費	10,000	真砂土、砂利ほか
各種健康診査の受診率の向上	30,000	
需用費 消耗品費	13,500	色模造紙、用紙ほか
需用費 食糧費	4,500	会議時お茶150円×30本
役務費 印刷製本費	12,000	資料印刷代 3円×1,000枚×4頁
歯科検診の充実	21,000	
報償費	10,000	歯科助手謝礼5,000円×2人
需用費 消耗品費	11,000	色模造紙、用紙ほか

【支出の部】

	役務費	印刷製本費	9,000	啓発資料印刷代 3円×1,000枚×3頁
町民参加による健康づくりの推進			60,000	
	報償費		9,000	看護師謝礼3,000円×3人
	報償費		25,000	参加者賞品代100円×250人
	需用費 消耗品費		16,850	色模造紙、用紙ほか
	需用費 食糧費		3,150	会議時お茶150円×7本×3回
	役務費 印刷製本費		6,000	チラシ等印刷代 3円×1,000枚×2頁
地域福祉の充実			30,000	
	需用費 消耗品費		17,850	用紙ほか事務用品
	需用費 食糧費		3,150	会議時お茶150円×7本×3回
	役務費 印刷製本費		9,000	啓発資料印刷代 3円×1,000枚×3頁
高齢者福祉の充実			60,000	
	需用費 消耗品費		1,750	用紙ほか事務用品
	需用費 食糧費		7,500	会議時お茶150円×10本×5回
	役務費 印刷製本費		750	会議資料印刷代 3円×5頁×10人×5回
	使用料及び賃借料		50,000	先進地視察マイクロバス借上料50,000円×1台
地域の安全活動の充実			30,000	
	需用費 消耗品費		15,000	用紙、マジックほか事務用品
	役務費 印刷製本費		15,000	ふれあいマップ印刷代 3円×5頁×1,000枚
波多津町まちづくり運営協議会(全体)			20,000	
	需用費 消耗品費		4,600	用紙ほか事務用品
	需用費 食糧費		4,500	会議時お茶150円×10本×3回
	役務費 通信運搬費		10,000	会議案内ハガキ50円×200枚
	役務費 印刷製本費		900	資料印刷代 3円×10頁×10名×3回
	計		860,000	

(4) 波多津町観光看板



ようこそ! 波多津町へ

① 高尾山公園

- ◎ 玄海国定公園
- ◎ 桜の名所
- ◎ イロハ島を眼下に伊万里湾を眺望



② はたつふれあい広場

- ◎ 海鮮バーベキュー (カキ焼き)
- ◎ 農産物直売所
(毎週土・日 午前10時~午後4時開所)



波多津町まちづくり運営協議会

5) 「波多津ふれあいひろば」^{無間放送}FBS生中継

- 8月8日(火)15:18～(5分)
- 伊万里海の幸&山の幸 超穴場新スポット



(6) 各自治公民館の元気推進事業

自治公民館	事業名称	事業の開催日	事業の内容	事業のステップアップの内容
木場	秋まつり(グランドゴルフ大会)	10月19日	人との交流、ふれあい事業	上位入賞者及び参加者に商品を準備し始業の活性化を図る
開拓	明るく元気ジョギング	年間を通して	人との交流、ふれあい事業	年間6回程度、ジョギングを通して区民の交流を図る
筒井	地蔵祭り(夏祭り)	8月24日	伝統文化の維持と創造	筒井区の交流と活動の活性化を図る
井野尾	地蔵祭り(夏祭り)	8月24日	伝統文化の維持と創造	抽選会等の催しを入れ、区民の参加を促し活性化を図る
田代	地蔵祭り(夏祭り)	8月24日	伝統文化の維持と創造	昔からの伝統文化の維持と地域住民のふれあい事業
板木	地蔵祭り(夏祭り)	8月24日	伝統文化の維持と創造	子どもたちからお年よりまで集まって、部落の活性化を図る
津留主屋	五穀神社整備事業	11月23日	伝統文化の維持と創造	当面、神社参拝道路の整備を急ぐ
中山	中山区民ウォーキング交流大会	11月9日	人との交流、ふれあい事業	区民3世代交流の場として、健康づくりを入れて内容を一新
畑津	そばの育成と収穫体験	9月～1月	人との交流、ふれあい事業	人との交流を通じて活力とにぎわいのあるまちづくりを推進
内野	自然卒「内野もっこり会」	年間を通して	人との交流、ふれあい事業	内野区、若手有志による地域の自然を活かしたまちづくり
煤屋	敬老会・慰霊祭	5月の連休	伝統文化の維持と創造	全煤屋区民が参加し、更なる活性化と親睦を図る
馬鈴渦	桜並木の整備作業	年間を通して	地域の自然を活かしたまちづくり	植樹、清掃、草刈りを定期的にも実施する
辻	活力とにぎわいのある町づくり	8月24日	人との交流、ふれあい事業	老人会と子ども会とのゲートボール・運動広場の草取り
涌	鯛山笠復興事業	年間を通して	伝統文化の維持と創造	賞し出しハッピーを用意し曳き山及び踊り活動の発展に期する



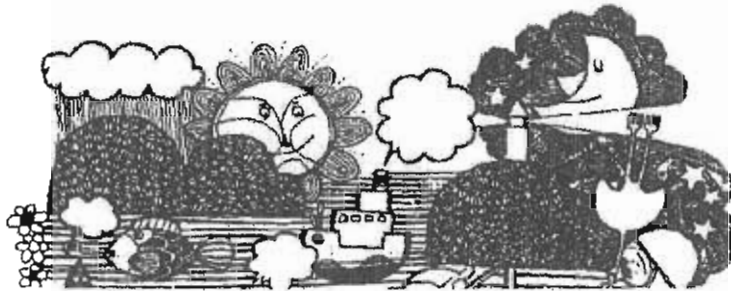
そばの育成と子どもたちによる収穫作業体験(畑津区)



桜並木の整備作業(馬鈴渦区)

(7) こんばんは！波多津町まちづくり集会

開催日 = 10月～12月（各区の常会）
 時 間 = 19:00～20:00
 進 行 = 各行政区の区長



月・日		時間	19:00～	20:00～
10月	14日(火)		木 場	開 拓
	15日(水)		筒 井	田 代
	16日(木)		井 野 尾	板 木
11月	10日(月)		津留主屋	中 山
	11日(火)		煤 屋	馬 蛤 湯
	12日(水)		浦	.
12月	15日(月)		畑 津	内 野
	16日(火)		辻	.

〔集会式次第〕

- (1) 元気推進事業の全体構想について (8分) 館長(副館長)
 ・波多津町が伊万里市の元気推進事業のモデル地区に指定
- (2) 元気推進事業の重点施策について (2分) 資料による説明
 - ① 各種健康診査の受診率の向上を目指して
 ・受診率アップが健康管理の第一歩
 - ② 「あなたのまちの民生・児童委員、福祉活動委員は私です」キャンペーン (8分)
 ・子どもや高齢者を社会から孤立させない！
 社課、社会福祉協議会
- (3) 質疑応答 (10分)
- (4) まとめ (2分) 男女協働・まちづくり課



事業の主旨と重点施策についての説明会

(8)平成20年度 波多津町への観光(視察)客動態調査

客数は色々なデータに基づいた概数、()内の数字は内数

月	客数	ふれあい場	観光ツアー等団体	波多津公民館への研修視察	
4	330	(80)	高尾山(桜の名所)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 2/29 熊本県荒尾市公民館長会(41名) 3/27 三養基郡自治公民館長会(51名) </div>	
5	150	(24)			
6	182	(166)	8日 西鉄観光(39名) 14日 西鉄観光(40名)		
			15日 西鉄観光(42名) 28日 西鉄観光(21名)		
7	166	(74)	6日 西鉄観光(33名) 12日 西鉄観光(16名)		6日 久留米市城島地区公民館長会(25名)
8	195	(45)	6日 波多津区長会(21名)		
9	1,760	(60)	14日 波多津みなとまつり(1500名)		
10	429	(283)	8日 イオンツアー(39名) 9日 イオンツアー(26名)	8日 佐賀市嘉瀬公民館(生涯学習セミナー受講生)(30名)	
			9日 ボランティアツアー(41名) 9日 波多津町・黒川町区長会(46名)		
			31日 ボランティアツアー(27名)	27日 福岡県筑後市公民館連合会(50名)	
11	334	(240)	5日 ボランティアツアー(41名) 12日 ハウステンボスツアー(29名)	28日 山口県光市公民館長会(14名)	
12	502	(481)	1日 イオンツアー(20名) 27日~31日ふれあい広場歳末大売出し(290名)	3日 大分県日田市公民館長会(15名)	
1	172	(161)			
2	185	(125)	22日 ふれあい広場に塩焼き場完成		
3	507	(480)	3日 ふれあい広場FBS(福岡放送)実況生中継		
			7日 畑の中のレストラン(30名)		
計	4,912	(2,219)	(528)	(134)	

※ ふれあい広場は毎週土・日開催

(9) これまでの取り組みの経過

日時	場所	内 容	日時	場所	内 容
5.16	交流プラザ	地域支援市議員意見交換(波多津町・二里町)	11.1	各自治公民館	こんばんは！波多津まちづくり集會(津主・中山)
5.21	波多津公民館	運営協議会発足準備会	11.1	各自治公民館	こんばんは！波多津まちづくり集會(煤屋・馬始湯)
6.11	波多津公民館	地域の元氣推進事業説明会(町内の各種諸団体)	11.3	福岡県赤松市	地域支援市職員研修視察(波多津より3名参加)
6.18	波多津公民館	公民館運営審議会(地域の元氣推進事業説明)	11.1	各自治公民館	こんばんは！波多津まちづくり集會(浦)
6.26	波多津公民館	第1回運営委員会	12.2	各自治公民館	こんばんは！波多津まちづくり集會(畑津・内野)
7.3	波多津公民館	第2回運営委員会	12.2	各自治公民館	こんばんは！波多津まちづくり集會(辻)
9.3	波多津公民館	健康福祉部会・体育部会合同部会	12.2	波多津公民館	第1回まちづくり計画策定会議
9.9	波多津公民館	区長会(生活課題調査依頼)	1.28	波多津公民館	第2回まちづくり計画策定会議
9.24	波多津公民館	文化活動部会	2.9	波多津公民館	区長会で生涯健康づくり資料配布
10.3	波多津公民館	健康づくり大会打ち合わせ	2.19	交流プラザ	地域支援市職員研修会
10.1	運動広場館	第1回波多津町健康づくり大会	2.23	波多津公民館	地域づくり部会
10.6	運動広場館	第3回運営委員会・健康福祉部会合同部会	2.24	波多津公民館	安心安全部会
10.6	交流プラザ	地域支援市職員研修会	2.25	波多津公民館	青少年育成部会
10.1	各自治公民館	こんばんは！波多津まちづくり集會(木場・開拓)	3.12	波多津公民館	健康福祉部会
10.2	各自治公民館	こんばんは！波多津まちづくり集會(筒井・田代)	3.18	波多津公民館	第5回運営委員会
10.2	各自治公民館	こんばんは！波多津まちづくり集會(井野尾・板木)	3.26	波多津公民館	波多津町まちづくり運営協議会総会
10.2	波多津保育園	保育園児と老人会との交流事業			



(10) 波多津町まちづくり運営協議会規約

(名称)

第1条 本会は、波多津町まちづくり運営協議会(以下「協議会」という。)と称する。

(目的)

第2条 本会は、「波多津町民憲章」の精神を以って、住民自らが地域の将来像を考え、その実現に向けて自ら行動することによって、町民が誇りと郷土愛を抱く住み良いまちを形成していくことを目的とする。

(事務局)

第3条 協議会の事務局を伊万里市波多津町辻1080番地、波多津公民館に置く。

(事業)

第4条 協議会は波多津町まちづくり計画を策定するとともに第1条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1)地域住民相互の情報交換並びに交流・親睦に関する活動
- (2)地域活性化に関する活動
- (3)健康・福祉に関する活動
- (4)生活環境の保全に関する活動
- (5)地域の防災・防火及び防犯に関する活動
- (6)自治会活動との連携に関する活動
- (7)その他目的達成のために必要な活動

(組織)

第5条 協議会の会員は次に掲げるとおりとする。

- (1)波多津町に居住する住民
- (2)波多津町で活動する自治会、団体
- (3)波多津町に所在する事業所
- (4)その他、会長が必要と認める者

(役員)

第6条 協議会に次の役員を置く。

会長	1名	副会長	1名	幹事	2名
会計	1名	事務局長	1名	監事	2人

- 2 会長、副会長及び監事は運営委員会において選出し、総会の承認を得る。
- 3 幹事、会計、事務局長は、会長が任命する。
- 4 部会長は各部会において選出する。又部会長は他の役員を兼ねることができる。

(顧問)

第7条 協議会に顧問を置くことができる。

- (1)顧問は協議会の運営全般に対し、意見を述べることができる。
- (2)顧問は運営委員会で選出する。

(役員の職務)

第8条 協議会役員の職務は次の通りとする。

- (1)会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
- (2)副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3)幹事は協議会の庶務を担当する。
- (4)会計は、協議会の会計事務を処理する。
- (5)監事は、協議会の会計及び事業の執行状況を監査し、総会に監査報告を行う。
- (6)事務局長は、協議会事務を総括する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 補欠により選出された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第10条 協議会の会議は、総会、運営委員会及び事業部会とする。

- 2 協議会の会議等は、すべて公開を原則とし、事業計画、事業報告、予算及び決算についても広く町民に周知するものとする。

(総会)

第11条 総会は、運営委員会及び事業部会委員をもって構成する。

- 2 総会は、毎年1回、定期総会を開催するほか、会長が必要と認めた場合、または、委員の3分の1以上の請求があった場合は、臨時総会を開催することができる。

- 3 総会は会長が召集する。
- 4 総会の議長は、その総会において、出席者の中から選出する。
- 5 総会は次の事項を決定する。
 - (1)まちづくり計画
 - (2)会長、副会長、監事の任命承認
 - (3)協議会の事業計画、予算、決算に関すること
 - (4)その他、重要事項に関すること

(運営委員会)

第12条 運営委員会は協議会役員、顧問、区長、及び公募住民により構成する。

- 2 運営委員会は、総会に諮るべき事項及び協議会の運営に関する事項を審議決定する。
- 3 運営委員会は、会長が召集する。
- 4 会長は運営委員会の議長となる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外のものを出席させ、意見を求めることが出来る。

(事業部会)

第13条 総会及び運営委員会で決定された方針に基づき施策を実施するため、協議会に事業部会を置く。

- 2 事業部会に次の部会を置く。
 - (1)文化活動部会
 - (2)青少年育成部会
 - (3)体育部会
 - (4)健康福祉部会
 - (5)安心安全部会
 - (6)地域づくり部会

- 3 部会に所属する団体は、部会を構成する団体の意見等を踏まえ、運営委員会で承認する。
- 4 部会には、部会長及び副部会長を置く。
- 5 部会長及び副部会長は、部会員の中から選出する。
- 6 部会長は部会を代表し会務を総括する。
- 7 副部会長は、部会長を補佐し、部会長が事故あるときは、その職務を代行する。
- 8 部会長は、必要があると認めるときは、部会員以外の者を出席させ、意見を求めることが出来る。

(会計)

- 第14条 協議会の運営等に関する経費は、交付金、補助金、委託料及びその他の収入をもって充てる。
- 2 協議会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

(その他)

第15条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は会長が運営委員会に図り、別に定める。

附則

この規約は、平成20年7月1日から施行する。